

第7章 計画の推進体制

1 推進体制

本計画の推進にあたっては、市民をはじめ家庭や職場、地域と保育、教育、保健、医療、福祉、農業関係者、民間企業などの多様な食育に関わる関係機関・団体等が、情報交換を行い連携・協働することが必要です。「伊勢原市食育推進連絡会議」や「伊勢原市市内食育推進連絡会」等を通じて一体的に推進していきます。

〈伊勢原市食育推進連絡会議〉

医療・教育機関関係者や保護者代表、民生委員、児童委員、食育推進ボランティア、農業関係者等食育関係機関による会議。食育活動や連携に関すること、計画の評価等を協議しています。

〈伊勢原市市内食育推進連絡会〉

市内の食育関係部署が、食育に関する情報を共有し、連携を強めるとともに、それぞれの役割分担に応じて、各分野の具体的な取組を推進していきます。

〈市内栄養士連絡調整会議〉

市内の各所属栄養士が、食育の取組方針や具体的な実施内容等の情報交換・調整、連携を行い、それぞれの担当分野に応じて、より効果的な食育を推進していきます。

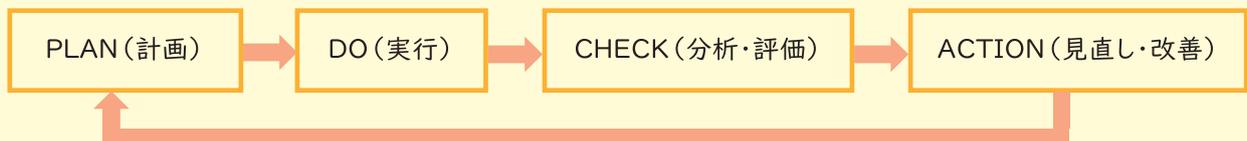
2 進行管理

食育の取組の評価や本計画の進行管理については、事業計画を「PLAN（計画）」とし、毎年「DO（実行）」「CHECK（分析・評価）」「ACTION（見直し・改善）」を繰り返すPDCAサイクル[※]による進行管理を行います。

具体的には計画（PLAN）に基づいた取組の実施（DO）後、事業報告等を通じて「市内食育推進連絡会」で進捗状況等を確認し、これらを基に「伊勢原市食育推進連絡会議」において総合的にチェック（CHECK）し、報告するとともに、意見を聴取し、見直しと改善（ACTION）を図ります。

第4次伊勢原市食育推進計画の期間は令和5年度から令和9年度までですが、本計画の評価やSDGsの考え方等を踏まえ、市民の食生活や食育に対する意識や関心などの実態を調査・把握し、計画の中間年度である令和7年度に中間評価、令和9年度に最終評価を実施します。

※ PDCAサイクルとは、事業活動等における管理業務を円滑に進める手法の一つです。PDCAは、サイクルを構成する頭文字をつなげたもので、PLAN（計画）→DO（実行）→CHECK（分析・評価）→ACTION（見直し・改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するという考え方です。



<食育とSDGsの関係性>

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、17の目標と169のターゲットから成る「SDGs（持続可能な開発目標）」を掲げ、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。

SDGsの目標には、「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。



3 計画の普及啓発

市民一人ひとりが自ら望ましい食生活を実践していけるように、幅広い関係機関・団体等と本市が連携し、それぞれの力を活かして食育に取り組み、市全体で協働して食育を進めます。

また、食育は体験的な活動が多く、接触機会も多いため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として「新しい生活様式」への対応が必要です。デジタル技術の活用等、非接触型の食育の展開を進め、「新たな日常」の中で高まる食への関心を活かした食育を推進します。

【計画の展開方法】

(1) 生涯を通じ、市民一人ひとりの健康を支える食育を進めます

社会情勢の変化や市民の生活状況は多様化しており、年代によっても食育に関する課題が異なります。日頃からの食への意識が生涯の健康につながるため、それぞれのライフステージの特性に応じた、正しい食習慣を身につけ実践するための食育を進めます。

(2) 次世代につながるよう、持続可能な食を支える食育を進めます

和食文化の継承や農産物の栽培・収穫、食の生産・流通、環境に配慮した消費、さらに料理や食事など、食に関わる様々な場面をきっかけに、そのつながりを広め深めることは食育を推進する上で大切です。食品ロスの削減や環境に配慮した食料システムの構築が求められる中、様々な食育の場面をきっかけに、食を支える環境の持続について学びを深め、実践するための食育を進めます。

(3) 食育に関わる団体の支援やネットワーク、環境整備を進めます

地域全体で効果的に食育を進めていくためには、より多くの主体が共通の食育に関する認識を持ち、取り組んでいく必要があります。関係者間で密に情報交換・共有を行い、地域全体の食育に関わる様々な取組をつなぐなどネットワーク化を図り、市全体で食育を推進していきます。

また、食育を推進する活動の活性化に向け、伊勢原市食生活改善推進員等ボランティアの養成・育成を行い、地域における人材の食育活動への支援を進めます。

【計画推進のイメージ図】

